

ワクチン接種

問 予約が取りづらいなどの課題も踏まえ、今後の予約方法の見直しなど対策について伺う。

答 「市長」 現在65歳以上の方に対して7月末までの接種完了に向けて全庁体制で取り組んでいる。今後は電話やファックスによる予約だけでなく、インターネットでも予約を受け付けるなどスムーズに申込みいただけるよう努める。

問 市民への情報提供として、接種の進捗状況がわかるように公表しただけでないか。

答 「健康管理課長」 市民の皆様が安心できる情報であると考え、公表できるように内容を検討する。

問 安全性の取り組みとして、全国でのミス事例は情報共有できているか。また対策は取れているか。

答 「健康管理課長」 全国で発生したその都度確認を行い、問題や事故が発生しないよう接種を進めている。

新しいゴミ処理

問 資源ごみとして回収していたプラ



宮内康幸議員
(創世会)

スチックごみを、普通ごみとして回収し焼却することについて、国の方針と逆行しているように感じ、市民の皆様が理解が進んでいないのではないかと。

答 「環境生活課長」 国では今後プラスチック類の分別収集を推進する方針が示されている。一方で現在は焼却して発生するエネルギーを熱や蒸気として回収するサーマルリサイクルも、東総地区広域市町村圏事務組合では、二酸化炭素発生量などの環境負荷と経済性を考慮した結果、発生する熱エネルギーにより発電し、電力を施設内で使用するとともに余剰電力を売電することとした。引き続き市民の皆様丁寧に説明していく。

問 直接搬入のごみ手数料について、コロナ禍の影響も重なり、特に事業系のごみ手数料は二重の負担増になっているのではないかと。

答 「環境生活課長」 決定された処理手数料については、匝瑳市、旭市、銚子市の3市内の市民、事業所の皆様がごみの排出量に応じて公平にご負担いただくものであり、ご理解いただきたい。

防災・減災

問 慢性的に発生する中央地区の冠水対策について伺う。

答 「建設課長」 既存排水路の堆積物撤去や破損部の補修を行うとともに、改修工事の際には排水勾配の検討や流量断面の確保等により排水能力の向上に努めている。



都祭広一議員
(創 真の会)

防災

問 行政における防災力の強化についてどう考えるか。

答 「市長」 公助としての行政の防災力強化を図るためには、防災についての知識を備えた職員の育成が重要である。災害対応の中心的役割を担う防災担当職員については、防災士資格の取得を進めている。

問 危機管理・防災力の強化のため、退職自衛官を防災・危機管理監に任用すべきではないか。

答 「総務課長」 令和3年4月1日現在、県内では27市町(50%)が退職自衛官を防災・危機管理監等に任用している。市としては、任用については引き続き調査研究してまいりたい。

まちづくり

問 歴史に特化した我が匝瑳市に多数残る、中世の城郭遺構を活用した歴史遺産ツーリズムの構築を進め、新たな御城印の発行を求めらる。

答 「市長」 散歩のまち匝瑳を推進するため、市内の史跡等をおすすめるため、市内の史跡等をおすすめるため、新たな観光資源として、観光協会と連携した取り組みを進めていく。

問 空き家対策を進め、お試し住宅や移住支援住宅など、具体的な活用を進めるべき時期である。持ち主の意向確認はされているのか。

答 「都市整備課長」 空き家所有者へのアンケートでは、売却または賃貸を希望する回答が48件であった。

問 空き家バンク登録数と、移住定住への効果について伺う。

答 「企画課長」 平成24年から現在までに、43件の物件登録があり、18件の売買等の成約にて25名の方が、本市へ移住定住されている。

武漢ウイルス

問 高齢者施設や、学校などでのクラスター対策のため、ワクチン接種の優先順位について市の独自判断が必要ではないか。

答 「健康管理課長」 対象施設においては接種希望調査を行い、優先的に接種していきたい。また、学校の先生方については教育委員会と調整させていただきたい。

環境

問 事業系ごみの処理手数料が、実質4倍の値上げとなり、市内事業者から負担感が示されており、支援策を講ずるべきではないか。また、共同生活援助のある施設での、おむつ処理について事業系ごみではなく、家庭ごみとして検討いただけないか。

答 「環境生活課長」 処理料の直接的な補填ではなく、ごみの減量化につながる事業者の負担軽減という観点で、おむつ処理と併せ制度の調査研究をしてまいりたい。